

文部科学省「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン」採択事業  
新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン

# 平成30年度 がんプロ学生アンケート 集計結果

---

回答収集期間  
2018 11/28 - 2019 1/31





# 新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 平成 30 年度 がんプロ学生アンケート

## I. 趣旨・目的

「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」の課題、改善点等を把握するため、がんプロコースを履修している学生（インテンシブコースを含む）に対してアンケートを実施する。

## II. 実施方法・スケジュール

ウェブアンケートの形式にて実施。

時期	内容
10月	九州がんプロ事務局およびエリア拠点にて、アンケート項目の検討。
10月29日	事業運営推進協議会（書面回議）にて、アンケート内容について審議。
11月28日	各大学を通じ、がんプロコースの学生（インテンシブ含む）に周知。 アンケート回答を促す（締切：1月31日）。
2月	九州がんプロ事務局にて、回答結果を集約。事業運営推進協議会にて報告。 また、平成30年度の内部評価へ反映。
3月以降	九州がんプロホームページにおいて、実施結果を公表。

## III. アンケート設問

末尾に付録として掲載。今回は「Lime Survey」という無料のアンケートシステムを利用して作成した。  
なお、本集計結果も、Lime Survey の管理画面上から出力表示したものを利用している。

## IV. 集計結果 総回答者数 88 名（一部未回答項目あり）

### 1. あなたの所属について

1. あなたの所属大学を選んでください。

回答	カウント
九州大学 (A1)	31
福岡大学 (A2)	1
久留米大学 (A3)	2
佐賀大学 (A4)	4
長崎大学 (A5)	1
熊本大学 (A6)	5
大分大学 (A7)	25
宮崎大学 (A8)	1
鹿児島大学 (A9)	2
琉球大学 (A10)	2
回答なし	4
未完了あるいは非表示	10

2. あなたの所属しているコースの種別を選んでください。

回答	カウント
大学院コース (A1)	55
インテンシブコース (A2)	19
回答なし	4
未完了あるいは非表示	10

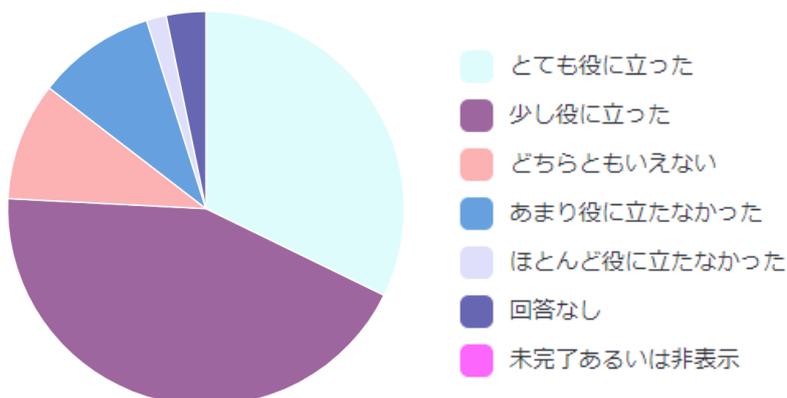
3. あなたの所属する課程を選んでください。

回答	カウント
修士課程 (A1)	22
博士課程 (A2)	33
その他 <input type="button" value="閲覧"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>Q 病院</li> <li>Q 学士</li> <li>Q 大学病院看護部 がん化学療法看護認定看護師 看護専門学校卒</li> <li>Q がん化学療法看護認定看護師</li> <li>Q 薬剤師</li> <li>Q 病院</li> </ul>	15
回答なし	8
未完了あるいは非表示	10

## 2. 授業について

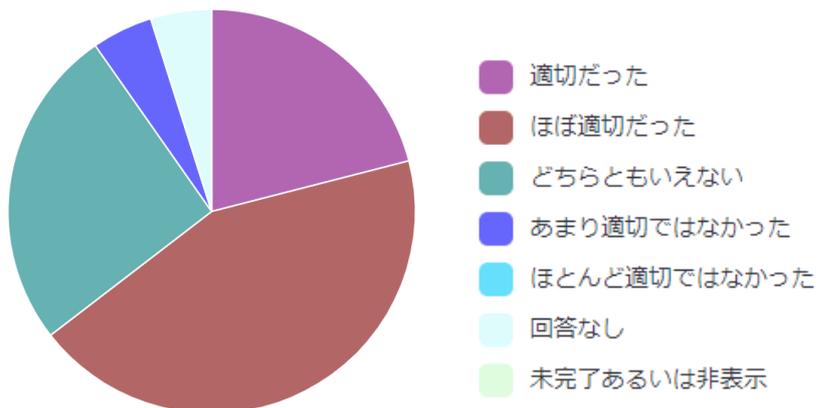
1. 提供された講義・演習等は、あなたの臨床や研究において役立つものでしたか？

回答	カウント
とても役に立った (1)	20
少し役に立った (2)	27
どちらともいえない (3)	6
あまり役に立たなかった (4)	6
ほとんど役に立たなかった (5)	1
回答なし	2
未完了あるいは非表示	26



2. 提供された講義・演習等の水準（レベル）は、あなたにとって適切でしたか？

回答	カウント
適切だった (1)	13
ほぼ適切だった (2)	27
どちらともいえない (3)	16
あまり適切ではなかった (4)	3
ほとんど適切ではなかった (5)	0
回答なし	3
未完了あるいは非表示	26



2-2. 「あまり適切ではなかった」「ほとんど適切ではなかった」理由をお聞かせください。

回答	カウント
内容・説明が難解すぎた (1)	3
内容・説明が簡単すぎた (2)	0

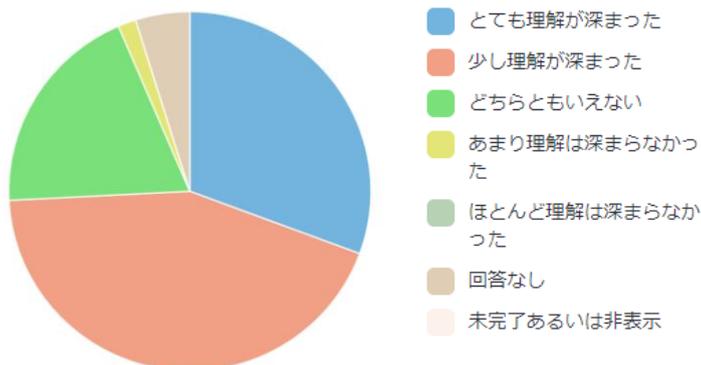
3. 今後の講義・演習等で改善して欲しいと思うものがあれば選んでください。

また、具体的なお意見があれば、横の欄に記入してください。

項目	回答数	具体的なお意見
配付資料	3名	
パワーポイントスライド・板書	2名	日本語希望
関連する情報や話題の提供	4名	放射線腫瘍学、医学物理学の臨床に関する講義を増やして欲しいと思いました。／進捗が遅かった。
講義室等の環境（開催場所）	2名	時々わかりにくかった
開講する曜日・時限	7名	夜が遅すぎます。／火曜日以外にもやってもらいたかった／不定期で木曜日開講などはやめてほしい／夕方以降だと参加しやすい。／地方に住んでいるので、開始時間を遅めにしてほしい。特に冬季は凍結で参加できない可能性も出てくる。

#### 4. がンプロの講義・演習を受けて、がん医療への理解が深まりましたか。

回答	カウント
とても理解が深まった (A1)	19
少し理解が深まった (1)	27
どちらともいえない (2)	12
あまり理解は深まらなかった (3)	1
ほとんど理解は深まらなかった (4)	0
回答なし	3
未完了あるいは非表示	26



#### 4-2. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

- 臨床ではあまり考えない分子メカニズムなど、より深く癌治療を理解する素地を頂けたと感じています。
- 臨床研究、基礎研究をするにあたり、研究を進めるにあたりの目的だったり、倫理審査の意味や重要性などに関しても学べたから。
- ある程度臨床を経験してからの進学だったため、日頃から興味のある内容についての講義が多く、改めて学ぶ機会が得られて有意義だった。
- 講義の中で、CNS としての役割、視点などをより具体的に、実践と照らし合わせながら提示してもらいたかった。実習に入って急に、CNS としてはというところを計画書に反映したり、CNS の視点で患者をアセスメントする、組織をアセスメントするなどは難しい。講義をしてから実習をする流れであれば、講義の中である程度そのような内容を盛り込んで欲しいです。
- 薬物治療に関する講義により、薬物動態の情報を得る事が臨床現場でのアセスメントに活かせると感じたから
- ゲノム医療の講義により、ゲノム医療の概要について知ることができどの部分を今後学習していけばよいかわかった。
- 事例検討は、知識面や他の参加者の活動状況、対応方法がわかり役に立った。ゲノムの講義は、興味のある内容だった。
- 全体的に理解が深まった
- 臨床薬理学の講義では、薬剤の ADME や臨床での薬剤の考え方などを理解し、臨床で使用する薬剤の理解を深めることができた。
- 重粒子線治療に関する講義は 2 コマ時間が取られており、理解が進んだと思います。
- 最適化数学の講義により、データサイエンスへの理解が深まり、今後の研究活動へ活かせると感じたから
- 専門書に書いてあることを他者に説明する機会があり、知識が深まったから。
- 各癌腫についての講義で、横断的な癌に対する理解が深まったため。

5. がんプロの講義・演習を受けて、理解が深まったと思われる項目を選んでください。

回答	カウント
がんゲノム (SQ001)	30
小児がん (1)	6
AYA世代のがん (2)	5
希少がん (3)	5
ライフステージに応じたがん医療 (4)	9
放射線治療 (5)	18
薬物治療 (6)	17
その他 <input type="button" value="閲覧"/>	1

Q 画像診断

### 3. 講義・演習以外に関する評価

1. 講義・演習以外に、講演会・講習会・研修（他機関への出張・見学含む）・セミナー・カンファレンスへ参加する機会がありましたか？

回答	カウント
参加した (1)	31
参加しなかった (2)	25
わからない (3)	2
回答なし	0
未完了あるいは非表示	30

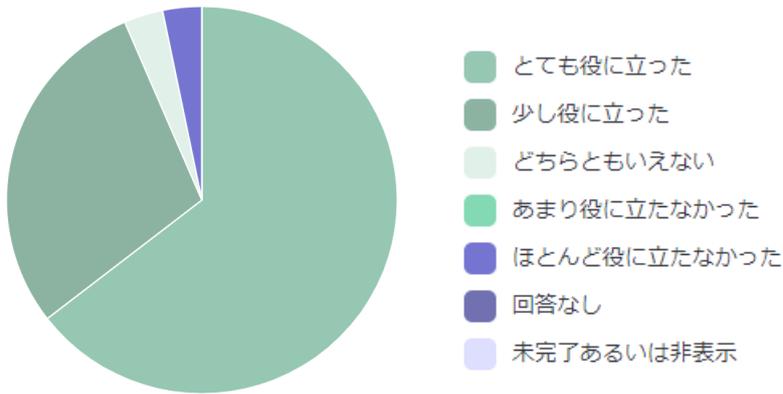
1-2. 「参加した」と回答した方にお聞きします。どのような活動に参加しましたか？

回答	カウント
カンファレンス (1)	8
セミナー・講演会 (2)	22
研修（他機関への出張・見学を含む） (3)	12
学会発表 (4)	13
その他 <input type="button" value="閲覧"/>	1

Q 地域緩和ケア勉強会

1-3. 参加した活動は、あなたの学習に役立ちましたか？

回答	カウント
とても役に立った (1)	20
少し役に立った (2)	9
どちらともいえない (3)	1
あまり役に立たなかった (4)	0
ほとんど役に立たなかった (5)	1



1-4. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

- 内容が難しいものも多かった。
- 緩和ケア科の医師が定期的に実施している地域クリニック・医院の先生との勉強会に参加し、がん診療連携拠点病院の役割として必要な勉強会であり、実施することが地域に在宅緩和をすすめる上で必要だと実感することができた。
- 普段からがん患者の意思決定支援に悩むことが多く、関連するセミナーや講演会に参加することで自分の対応を振り返る事ができ、改善点を見出す事ができたから
- 自分の役割や活動のための発展的な学習ができる内容、最新の知見に関する内容を選んで参加したため。
- 薬物の知識の理解が深まった
- 研究関連のセミナーで招待講演する機会を頂いた。講演の際には、自分の研究する機械について知識の深い方々から質問を頂き、大変有益なディスカッションをすることができた。また、講演後の懇親会では、論文等でお名前を拝見している先生方と意見交換することができ、大変勉強になった。
- 他機関を見学することで、今まで知ることのなかった多くのことを学ぶことができたから。
- 普段聴くことのできない、他施設のプレリミナリーな話題を学べたから。

2. がんプロの活動を通じて、学生や教員、他職種の医療人との交流を持つ機会がありましたか？

回答	カウント
交流を持った (1)	24
交流はなかった (2)	26
わからない (3)	8
回答なし	0
未完了あるいは非表示	30

2-2. 「交流を持った」と回答した方にお聞きます。その交流は、あなたの学習に役立ちましたか？

回答	カウント
とても役に立った (A1)	14
少し役に立った (A2)	8
どちらともいえない (A3)	1
あまり役に立たなかった (A4)	1
ほとんど役に立たなかった (A5)	0

2-3. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

- 訪問看護ステーションにボランティアとして2週間ほど行かせてもらい、訪問看護師の実際を学ぶと共に、今後の実践においても相談しやすい関係性を築くことができた。
- 同じ悩みを共有でき、相談できるため
- 多施設の専門的な役割を担っておられる方の意見を聞くことができたため
- 相談できる方が増えた。
- 自身の分野では学ぶ機会のないことを学ぶことができたから。

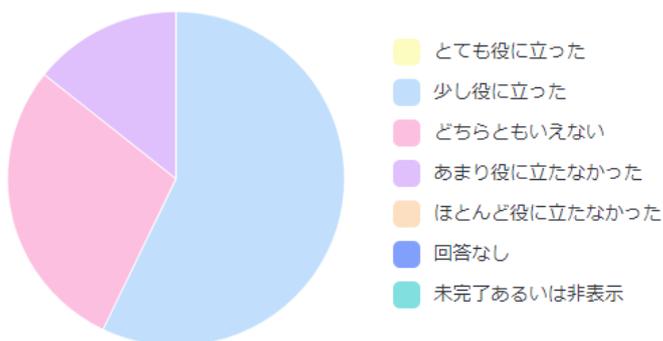
## 4. eラーニングについて

1. eラーニング講義を視聴したことがありますか？

回答	カウント
はい (Y)	7
いいえ (N)	50
回答なし	0
未完了あるいは非表示	31

1-2. eラーニング講義は、あなたの学習に役立ちましたか？

回答	カウント
とても役に立った (1)	0
少し役に立った (2)	4
どちらともいえない (3)	2
あまり役に立たなかった (4)	1
ほとんど役に立たなかった (5)	0



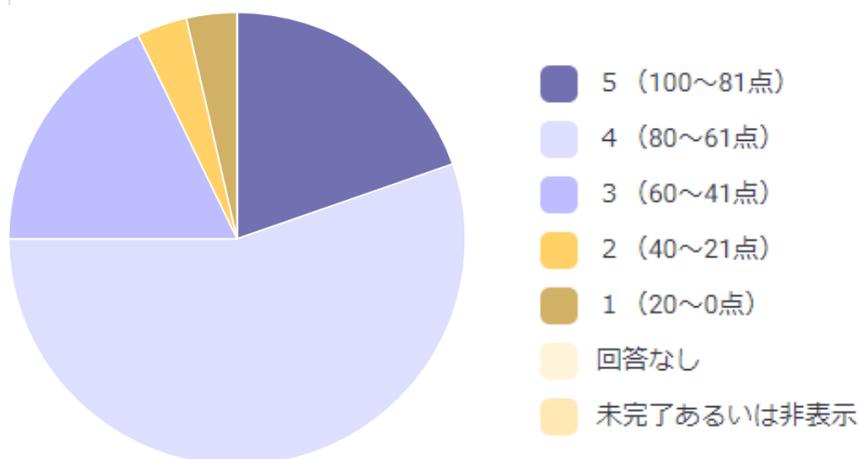
1-3. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

- 不勉強な分野について学ぶ機会にはなった。
- 全体的に理解が深まった

## 5. 全体の満足度

1. がんプロに参加して、現時点でのあなたの全体的な満足度（点数）をお聞かせください。

回答	カウント
5 (100～81点) (1)	11
4 (80～61点) (3)	31
3 (60～41点) (4)	10
2 (40～21点) (6)	2
1 (20～0点) (7)	2
回答なし	0
未完了あるいは非表示	32



2. がんプロに参加して、良かった点・継続して欲しい点を記入してください。

- ゲノム医療について、深く学ぶことができ良かった。今後も最新の情報を提供していただきたい。
- 医学物理士の受験資格を得られる点。
- 最新の知識を得られる機会となるので講義は継続してもらいたい。
- セミナーなどの情報を得られる点が良いと思います。
- 講演会の参加や学習会での意見交換を通して、新たな知識を得る機会になり、学習を深めることができました。
- e-ラーニングが良かった
- 事例検討や講義を受けることで、臨床で患者を見る視野が広がること。患者の状況を分析するうえで、幅広い知識を得ることができた。
- 癌研究に関する知識が得られた
- 医学物理士に合格することができた。
- 様々な臨床研究や新しい研究報告などがあり面白かった。
- 他機関への見学や研修は続けてほしい。
- がん研究、治療に対する理解が深まるとともに、今後のモチベーションにもなるプログラムで大変有用でした。

### 3. がんプロに参加して、改善して欲しい点・提案があれば記入してください。

- 講義が開催される時間帯と曜日。
- 年度始めに、授業の内容や講義の日程が決定するのが遅れたため、研究室との日程調整が難しく今後早めに決定していただければありがたいです。
- 予定通り卒業できなかった。実習と修士論文のどちらも充実するようにスケジュールリングすることが難しかったし、それを補完してくれる指導者が不足していた。(担当教員が数人いるが、学部生を指導しながらのため、積極的に指導を行ってくれる指導者が教授だけだった。)
- 医学物理士が国家資格になればより参加者が募ると考えます。
- 臨床に関する講義を増やして欲しい。
- 最適化数学やデータサイエンスなどの流行りの講義をもっと聞ければよかった。

## V. 次回アンケート実施に向けて

- ・今回はじめて「ウェブアンケート形式」での実施を試みた。締切日時点で「未完了」となっている回答も見られることから、今後、回答完了者の数が伸びるよう、設問内容や選択肢等について、より分かりやすくなるよう改善を行う。
- ・これまではエクセルファイルや印刷した紙媒体での集計を行っていたため、記述項目への回答数が少なかったと思われる(例えば、記述が面倒、提出時に個人が特定されることを躊躇う等)。今回、ウェブアンケート形式にしたことで、記述項目への回答が多く得られたことは非常に良い点であるため、今後もこの方式を継続することで検討を行う。
- ・今回の回答結果をもとに講義・事業の改善を行うとともに、必要に応じて学生との面談等も行うことで、学生の意見を的確に把握し、今後の事業のPDCAサイクルに反映させていく。

## 付録：アンケート設問内容

回答者が実際に閲覧した画面を以下に掲載。設問、選択肢の一覧は末尾に併せて掲載。

### 「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」在学学生アンケート調査

これは、各大学が開講するがんプロコース（大学院コース、インテンシブコース）に在籍する学生の皆さまを対象としたアンケート調査です。

いただいたご意見は、今後の教育内容の改善や、各種研修・講演会等の企画などに利用いたします。

回答時間は5分程度です。ご協力よろしくお願いいたします。



このアンケートは全部で23問あります。

#### あなたの所属について

あなたの所属大学、コース種別、学年等の基本的な情報についてお聞きします。

\* あなたの所属大学を選んでください。

以下から一つをお選び下さい。

\* あなたの所属しているコースの種別を選んでください。

以下から一つをお選び下さい。

あなたの所属する課程を選んでください。

以下から一つをお選び下さい。

#### 授業について

\* 提供された講義・演習等は、あなたの臨床や研究において役立つものでしたか？

以下から一つをお選び下さい。

- とても役に立った
- 少し役に立った
- どちらともいえない
- あまり役に立たなかった
- ほとんど役に立たなかった

＊提供された講義・演習等の水準（レベル）は、あなたにとって適切でしたか？

以下から一つをお選び下さい。

- 適切だった
- ほぼ適切だった
- どちらともいえない
- あまり適切ではなかった
- ほとんど適切ではなかった

「あまり適切ではなかった」「ほとんど適切ではなかった」理由をお聞かせください。

以下から一つをお選び下さい。

- 内容・説明が難解すぎた
- 内容・説明が簡単すぎた
- その他：
- 回答なし

今後の講義・演習等で改善して欲しいと思うものがあれば選んでください。

また、具体的なご意見があれば、横の欄に記入してください。

あてはまるものをすべてチェックしてください。

④ 選択時のみコメント記入

- 配付資料
- パワーポイントスライド・板書
- 関連する情報や話題の提供
- 講義室等の環境（開催場所）
- 開講する曜日・時限

＊がんプロの講義・演習を受けて、がん医療への理解が深まりましたか。

以下から一つをお選び下さい。

- とても理解が深まった
- 少し理解が深まった
- どちらともいえない
- あまり理解は深まらなかった
- ほとんど理解は深まらなかった

上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

例：○○に関する講義により、○○の点への理解がとても深まり、今後の実臨床へ活かせると感じたから。／  
○○の講義で○○について最新の知見を学べると思ったが、そういった情報は提供されなかったから。

がんプロの講義・演習を受けて、理解が深まったと思われる項目を選んでください（複数選択可）。

あてはまるものをすべてチェックしてください。

- がんゲノム
- 小児がん
- AYA世代のがん
- 希少がん
- ライフステージに応じたがん医療
- 放射線治療
- 薬物治療
- その他：

## 講義・演習以外に関する評価

講義・演習以外の活動（講習会への参加や、他の学生・医師等との連携構築）についてお聞きします。

\* 講義・演習以外に、講演会・講習会・研修（他機関への出張・見学含む）・セミナー・カンファレンスへ参加する機会がありましたか？  
以下から一つをお選び下さい。

選択してください・・・

\* 「参加した」と回答した方にお聞きします。どのような活動に参加しましたか？  
あてはまるものをすべてチェックしてください。

- カンファレンス
- セミナー・講演会
- 研修（他機関への出張・見学を含む）
- 学会発表
- その他：

\* 参加した活動は、あなたの学習に役立ちましたか？  
以下から一つをお選び下さい。

選択してください・・・

上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

\* がんプロの活動を通じて、学生や教員、他職種の医療人との交流を持つ機会がありましたか？  
以下から一つをお選び下さい。

選択してください・・・

\* 「交流を持った」と回答した方にお聞きします。その交流は、あなたの学習に役立ちましたか？  
以下から一つをお選び下さい。

選択してください・・・

上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

## eラーニングについて

九州がんプロ（および全国がんプロ）にて提供している「eラーニング講義」に関する質問です。

\*

eラーニング講義を視聴したことがありますか？

(参考) 全国がんプロeラーニングクラウド ログイン画面

<https://pj2.md.tsukuba.ac.jp/pj2/login.php>

はい

いいえ

\* eラーニングの講義は、あなたの学習に役立ちましたか？

以下から一つをお選び下さい。

- とても役に立った
- 少し役に立った
- どちらともいえない
- あまり役に立たなかった
- ほとんど役に立たなかった

上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

例：○○に関する講義により、○○の点への理解がとても深まり、今後の実臨床へ活かせると感じたから。／

○○の講義で○○について最新の知見を学べたと思ったが、そういった情報は提供されなかったから。

## 全体の満足度

「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」全体の満足度についてお聞きます。

\* がんプロに参加して、現時点でのあなたの全体的な満足度（点数）をお聞かせください。

以下から一つをお選び下さい。

選択してください・・・ ▼

がんプロに参加して、良かった点・継続して欲しい点を記入してください。

がんプロに参加して、改善して欲しい点・提案があれば記入してください。

送信する

「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」在學生アンケート調査 アンケート項目

1. あなたの所属について

	設問	回答	選択肢
1	あなたの所属大学を選んでください。	択一	九州大学／福岡大学／久留米大学／佐賀大学／長崎大学／熊本大学／大分大学／宮崎大学／鹿児島大学／琉球大学
2	あなたの所属しているコースの種別を選んでください。	択一	大学院コース／インテンシブコース
3	あなたの所属する課程を選んでください。	択一	修士課程／博士課程／その他

2. 授業について

	設問	回答	選択肢
1	提供された講義・演習等は、あなたの臨床や研究において役立つものでしたか？	択一	とても役に立った／少し役に立った／どちらともいえない／あまり役に立たなかった／ほとんど役に立たなかった
2	提供された講義・演習等の水準（レベル）は、あなたにとって適切でしたか？	択一	適切だった／ほぼ適切だった／どちらともいえない／あまり適切ではなかった／ほとんど適切ではなかった
2-2	「あまり適切ではなかった」「ほとんど適切ではなかった」理由をお聞かせください。	択一	内容・説明が難解すぎた／内容・説明が簡単すぎた／その他／回答なし
3	今後の講義・演習等で改善して欲しいと思うものがあれば選んでください。また、具体的なご意見があれば、横の欄に記入してください。	複数可＋記述	配付資料／パワーポイントスライド・板書／関連する情報や話題の提供／講義室等の環境（開催場所）／開講する曜日・制限
4	がんプロの講義・演習を受けて、がん医療への理解が深まりましたか。	択一	とても理解が深まった／少し理解が深まった／どちらともいえない／あまり理解は深まらなかった／ほとんど理解は深まらなかった
4-2	上記(4)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。	記述	
5	がんプロの講義・演習を受けて、理解が深まったと思われる項目を選んでください。	複数可	がんゲノム／小児がん／AYA 世代のがん／希少がん／ライフステージに応じたがん医療／放射線治療／薬物治療／その他

### 3. 講義・演習以外に関する評価

	設問	回答	選択肢
1	講義・演習以外に、講演会・講習会・研修（他機関への出張・見学含む）・セミナー・カンファレンスへ参加する機会がありましたか？	択一	参加した／参加しなかった／わからない
1-2	「参加した」と回答した方にお聞きします。どのような活動に参加しましたか？	複数可	カンファレンス／セミナー・講演会／研修（他機関への出張・見学を含む）／学会発表／その他
1-3	参加した活動は、あなたの学習に役立ちましたか？	択一	とても役に立った／少し役に立った／どちらともいえない／あまり役に立たなかった／ほとんど役に立たなかった
1-4	上記(1-3)の選択肢を選んだ理由について、具体的に聞かせください。	記述	
2	がんプロの活動を通じて、学生や教員、他職種の医療人との交流を持つ機会はありましたか？	択一	交流をもった／交流はなかった／わからない
2-2	「交流を持った」と回答した方にお聞きします。その交流は、あなたの学習に役立ちましたか？	記述	とても役に立った／少し役に立った／どちらともいえない／あまり役に立たなかった／ほとんど役に立たなかった
2-3	上記(2-2)の選択肢を選んだ理由について、具体的に聞かせください。	記述	

### 4. eラーニングについて

	設問	回答	選択肢
1	eラーニング講義を視聴したことがありますか？	択一	はい／いいえ
1-2	eラーニング講義は、あなたの学習に役立ちましたか？	択一	とても役に立った／少し役に立った／どちらともいえない／あまり役に立たなかった／ほとんど役に立たなかった
1-3	上記(1-2)の選択肢を選んだ理由について、具体的に聞かせください。	記述	

### 5. 全体の満足度

	設問	回答	選択肢
1	がんプロに参加して、現時点でのあなたの全体的な満足度（点数）をお聞かせください。	択一	5 (100～81点) / 4 (80～61点) / 3 (60～41点) / 2 (40～21点) / 1 (20点～0点)
2	がんプロに参加して、良かった点・継続して欲しい点を記入してください。	記述	
3	がんプロに参加して、改善して欲しい点・提案があれば記入してください。	記述	

文部科学省『多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン』  
採択事業 新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン

平成30年度 がんプロ学生アンケート集計結果

---

発行 平成31（2019）年2月  
編集・発行 九州がんプロ事務局（九州大学医系学部等事務部）  
ijsganpro@jimu.kyushu-u.ac.jp  
<http://www.k-ganpro.com/>